とかち新聞

主筆　松山明

（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話1351番

本紙購読料　1部25円　1カ月75円　1カ年前納750円

育英財団 石川家の二千万円で

小林町長報告 高橋氏、役場敷地の買収要求

足寄町議会

本年度定例第一回の足寄町議会は三月十一日にひらかれ会期を十日間として大滝議長から上京運動報告があつて各委員会から付託事項の審査報告がありました。

鳴海文教委員長　足寄高校定時制教育振興会にたいする補助については基本的には要望に応えるべきだが、振興会の組織、事業については、内部的な運営、活動面で積極的な努力が望ましい

宮口総務委員長　足寄クーラーステーションの水道料金減額の要望については趣旨は理解されるが本町上水道企業財政の実態は料金改訂の時期にきているなどからこれに応え得べきでない、しかし本町酪農振興と乳製品工場誘致の高い観点から他のなにらかの方法で措置すべきである

つづいて宮口決算特別委員長から四十二年度各会計の決算についてはそれぞれ認定すべきを適当と認めたとの報告があり、そのなかで主な意見として

一、滞納町税と関連する町との間の公共用地未解決事項については積極的に解決を図られたい

二、町において購入する物品の発注については入札見積り合せは別としても極端に限られた店にしぼつた方法とすることなく町民の平等な税負担の立場を充分考慮して広い範囲から購入するよう

三、借地の形となつている東小学校々地は財産管理上適正を欠くので所有者（農協）との話し合いをすすめて速やかに解決されたい

などの指摘があつて、三報告どおりに決定したあと、理事者側の行政報告とこれにたいする質疑がありました。

白糠線の起工式を

小林町長　第一点の役場敷地について相手より調停裁判の申し立てがあり、十二月二日の第一回で代理人の海老名弁護士は申し立ての理由として

一、交換の対象地は開拓財産で交換は不可能だつた

二、町長在職中は地方自治法に抵触する

三、契約書は故高橋健郎が高橋氏の奥さんから実印を借りて作つたもので本人は諒知していない

四、買つてほしいと価格を提示したが応じない

五、交換に応じたときは差額を支払うことになつた

六、現在賃貸契約は考えていない

と主張した、調停委員から山林の価格を明示してほしいといわれたがそれは意味をもたないと申しあげた、第二回は一月二十三日におこなわれ、海老名弁護士は高橋氏は選挙後は立つ鳥あとをにごさずの気持だつたが現在では塩幌の山林には魅力をもつていない、庁舎敷地は買収してほしいとのことで、調停で解決したいこの事件を本裁判にもつてゆく考えはないといわれ、家屋収去、土地明け渡しとしたのは調停申し立ての表現で文章どおり解釈されては困るとのことで、調停で穏便にしたいという、第三回は三月七日にあり私と議長が出席した、結論的になんとか敷地を買収で解決してもらいたいというが、理事者として交換議決から一歩も出られない、特別委で議決が有効か無効か検討しており、議決を無効としてすすめてくる場合は方法論を示されても入つてゆけない、有効とする立場であれば方法論に入れるし議決の変更もあり得るが、無効というのでは話し合いには応じられないと申しあげた、そのあと弁護士から議決の無効は後退するとなり掌を返して議決は有効として尊重するとなつた、形を変え議決を尊重してゆきたい、

着々と五校の統合へ

新津教育委員長　前回の議会に提出した学校統合に関する資料のとおり着々実施にうつしており茂足寄小が上足寄小へ、茂喜登牛中が西中へ、鷲府中が足中への統合が決まり、その後鷲府地域の方々が小学校も統合したいとのことで東小へ統合することになつた

第二点の白糠線の問題は四十四年度は上茶路から二股まで開業して足寄口から着工することになり二億円程度が見込まれ、中足寄からラワン高台までの用地買収の段階に入り、佐々木正勝氏のところから東小学校への鉄橋工事からはじまる、北十勝線の促進もはかり起工式をあげた方がよいとの話しもありこんご鉄道公団と打ち合せしたい、第三点の石川奨学資金について支庁長も心配され三月七日に現在利子をふくめて七百万円余の預金があるので町に寄附して頂き発足させることになつた、藤本国夫氏と私とが覚え書をかわし二、三日中に寄附手続きがなされる、当初二千万円との約束なので残額一千三百万円の寄附をされて財団としたい、第四点の国鉄の合理化による小駅廃止に反対してゆくことを町村会でも話し合つており、はね返してゆきたい

四十六年の計画だつたが二年くりあげ実施する、愛冠が四十四年度の計画で振興会の方々と数回意見交換し最終的に東小へ統合することに決定しスクールバスで環状線をまわり運行する、西中の新校舎は未完成だが新しい校舎から卒業生を出したいというので三月四日に仮入校させたので報告する

鳴海議員　鉄道は本道の開発計画ですすめるのか石川奨学会の寄附に条件はないのか、学校統合は急に計画変更されたが、当時の諮問委員は知らされていないがなぜか

小林町長　白糠線は石炭や林産資源の開発だつたが北見、網走、釧路へつなぐためとして、北十勝線が千才ー追分ー紅葉山線、狩勝線と結ぶ重要な幹線としてすすめられている、石川さんのは七百万円を若干出したが財団にはできないので遊ばせてはもつたいないので寄附をうけて条例で運用する、残額一千三百万円を頂いて財団にしたい、運用の条件はなく町の運用で結構だという、石川さん側の藤本、嶺、進藤氏に支庁長教育局長、町長、議長、高校長が加わる

岡教育長　学校統合の問題は暮に議決変更をし小学校も統合した方がよいとしてこのはこびとなつた、関係者に相談なくしていない

鳴海議員　鷲府がくずれたら根本的な変更となる住民が要請すれば便法的に計画を変更するのか、住民は自分の立場を中心にして考える

新津委員長　中学校は四校を明確に打ち出しており沿線は大誉地と上利別との中間地点か上利別寄りに建てたいので鷲府はかなり遠距離となる、小学校は一学級三編成がもつとも適当でバスで東小へ統合したい

宮口議員　西中へ仮入されたが本入校はいつか

（以下第二面へつづく）

ようやく五〇〇号

○…昭和二十九年にこの地帯での大衆政治新聞として本紙を発刊してから十五年目のこんにち、発行回数もようやく五〇〇号に達しました。

○…おおぜいの社員をかかえて発行部数の多い大新聞がマスコミならこちらはミニコミで、ひとり親方の気軽るさで勝手なことを書いているのだろう、金しだいでどうにでも書くのだろうといつた調子で、かつてのダニのような小新聞へのイメージをもたれ勝ちですが個人的な感情や利害で勝手なことをしていてはとても十五年間もつづけさせてはくれません。

○…小なりといえども新聞であるからには社会正義の上に立つてそれぞれの町の民主的発展を願う立場からの取材であり編集でなければならない筈です。

○…どこの町にも大なり小なり問題がありますが、それをどう取捨選択しどう表現するかであつて、ただ興味本位的な人さわがせにおわらせるのでなく、その問題をとりあげることによつてその町ばかりでなく他の町にも有益な参考となり、あるいはお互いに反省の資料となるような問題などにしぼつて、小さな紙面をより充実したものにと、その努力を、さらに五〇一号から十五年前の発刊当時の初心でつづけます。

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興　足寄駅通り　T四二〇

総合建設　久保田組
久保田庄太郎　足寄町西区　T四四八

◎労働および社会保険法令にもとずく事務ならびに手続きの代行、指導相談◎行政諸官公署への申請届出、報告書類の作成手続◎企業経営調査、指導◎損害保険取扱（共栄火災保険代理店）
豊田労務経営事務所　足寄町東一区　T七〇

大自然のなかの人工美
―いで湯のふるさと―
観光と保養の　芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

近代住宅に新建材！
家具建具製造販売　名種サッシ施工　新築、改築にご相談下さい
桜井建具店　桜井正夫　足寄町北五区T三六二

春物高級衣料から大衆衣料まで
豊富に入荷いたしまして陳列を完了いたしましたので御高覧御用命下さい。
なお近日中に京呉服展示会を、京都の初開き品を一堂に集めて行いますから御期待下さい
株式会社　前田呉服店　足寄駅前商店街　電話二二番

技術に生きる！
―あらゆる電気器具―
テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ
世界の　ビクター
有限会社　ミネ・デンキ
足寄劇場　電話142番